

# JR東日本労働組合 SENDAI情報

JR 東日本労働組合  
仙台地方本部  
発責：執行委員長  
編集：情宣部・組織部

## 「仙台支社での現業機関における 柔軟な働き方の実現について」交渉

仙台地本は10月27日、仙台支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について提案を受けました。エリアでの運輸区と駅が融合した働き方であると示されていますが、未だ具体的な中身については示されておらず、特に就業、職場等についてどうなるのか等、多くの疑問が寄せられました。大きな働き方の変化に対応し、働く環境を整え、不安解消の為、交渉を行いました。

### 交渉経過

1. 通勤超勤の基準となる拠点駅を示されたい。

**会社** 統括センター内での通勤には通勤超勤は発生しない。また、助勤という概念もない事になる。経過措置となる拠点駅は山形駅となる。

**組合** 統括センター外に勤務する場合は発生するのか。

**会社** 統括センター外に勤務した場合は発生するが、統括センター外での勤務は殆どないとする。

2. 勤務指定の示し方を明らかにされたい。

**会社** これまでと変わるものではない。変形勤務（指定外日勤）の中で、現場長の指示による。

3. 作業ダイヤの示し方を明らかされたい。

**会社** 運輸区での変形勤務（指定外日勤）では企画業務を行ったり、所属長の指示となる。その中で、駅の業務に入ることもあるだろう。駅の作業ダイヤについては、変わるものではない。

4. 山形統括センターにおける、社員が使用するロッカーの取扱いについて明らかにすること。

**会社** 現在、米沢駅と山形駅で行っている助勤で使用しているロッカーの扱いと変わらないし、出面の数に合わせて準備している。

**組合** セイフティーボックスについても準備されるのか。

**会社** 準備していく。

5. 山形統括センターにおける、出勤時の制服の持ち運びについて明らかにすること。

**会社** 勤務箇所がある程度離れた箇所では、持ち運びして頂く事になる。

**組合** 制帽については、持ち運びする際に、かさばる。制帽については、移動箇所でも準備出来るようお願いしたい。

6. 現行現場に在籍する事務担当者の在り方について明らかにすること。

**会社** 直ぐに無くなることではないが、新ジンジャーが稼働すれば業務量も減ってくる。今後は、様々な業務も担って頂く。システムを超えて柔軟に働いていただくようになる。

以上